

令和4年度予算概算要求における宇宙関係予算

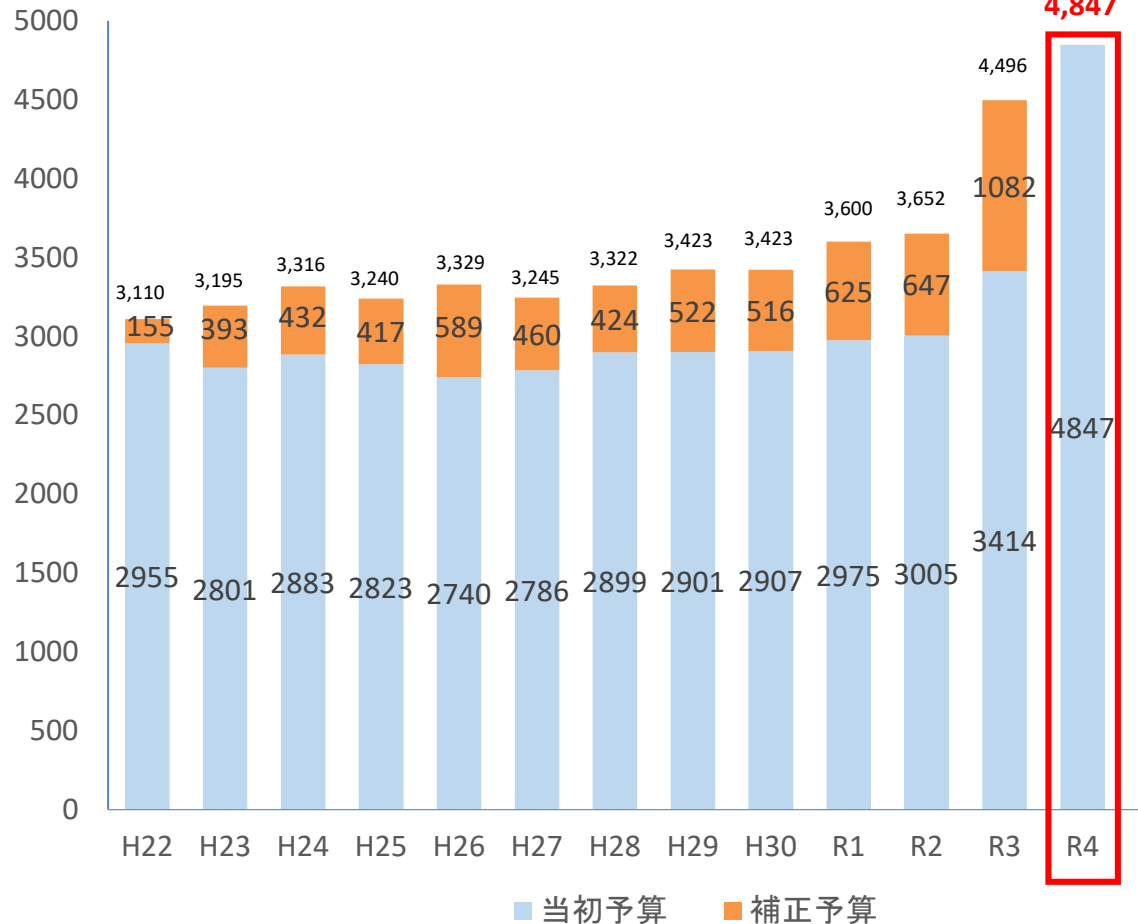
資料1-1

内閣府
宇宙開発戦略
推進事務局

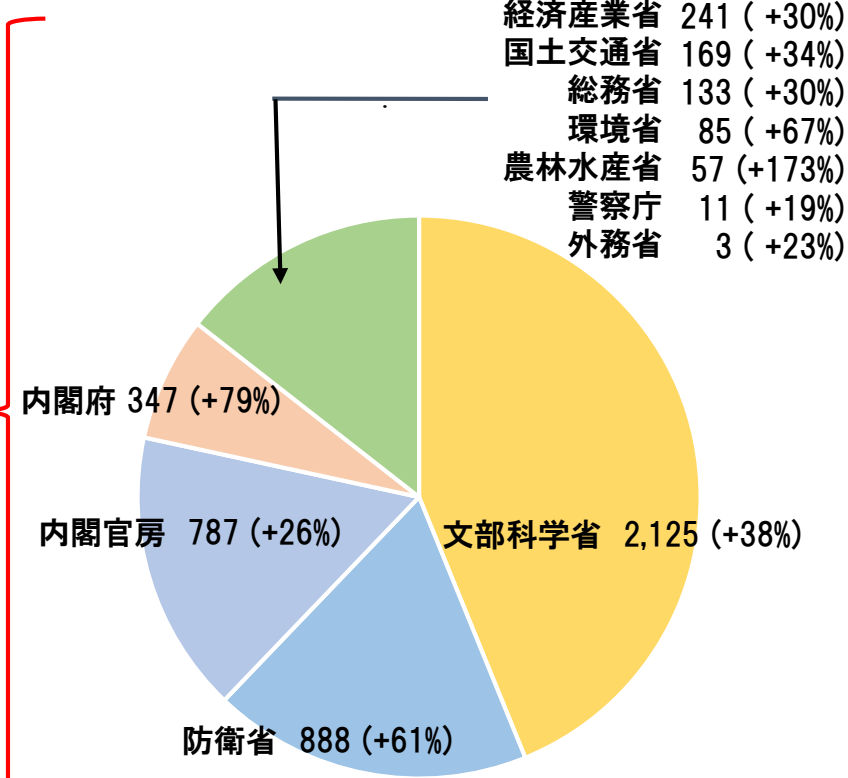
令和4年度予算概算要求
（令和3年度当初予算
（令和3年度当初予算＋令和2年度補正予算

4, 8 4 7 億円（令和3年度当初比 1, 4 3 3 億円増（+42%））
3, 4 1 4 億円 ）
4, 4 9 6 億円 ）

（単位：億円）



R4要求
4,847



※（ ）内は令和3年度当初予算との比較

四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計 4,847億円

【内閣官房】	787億円	【農林水産省】	57億円
● 情報収集衛星の開発・運用	787億円	● スマート農業加速化実証プロジェクト等	22億円
【内閣府】	347億円	【経済産業省】	241億円
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用	278億円	● 超小型衛星コンステレーション基盤技術開発	23億円
● 小型衛星コンステレーションの構築など 宇宙開発利用の促進	58億円	● マイクロ波無線電力伝送による 宇宙太陽光発電システムの開発	5億円
● 中央防災無線網の運用等	2億円	● 水素製造、半自律遠隔制御等研究開発	202億円
【警察庁】	11億円	【国土交通省】	169億円
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等	11億円	● 準天頂衛星を利用したSBAS等性能向上整備	33億円
【総務省】	133億円	● 静止気象衛星ひまわりの運用	26億円
● 量子暗号通信網の構築	34億円	● 測量分野での利活用の推進	23億円
【外務省】	3億円	【環境省】	85億円
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3億円	● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	57億円
【文部科学省】	2,125億円	● 衛星による地球環境観測経費	21億円
● アルテミス計画に向けた研究開発等	381億円	【防衛省】	888億円
● 火星衛星探査計画（MMX）	92億円	● SSA（宇宙状況監視）の強化	160億円
● H3ロケットの開発・高度化	205億円	● 宇宙を利用した情報収集・通信能力等の強化	588億円
● 先進レーダ衛星の開発	96億円	● ミサイル防衛のための衛星コンステレーション活用の検討	16億円※
● 技術試験衛星9号機の開発	48億円		
● X線分光撮像衛星（XRISM）の開発	116億円		
● 将来宇宙輸送システムロードマップ実現 に向けた研究開発	40億円		
● 衛星コンステレーション関連技術開発	88億円		

（※契約額ベース）

※ 各金額は四捨五入によって算出

令和4年度概算要求 重点事項への対応状況（例）

1. 宇宙安全保障の確保

- 情報収集衛星の開発・運用（内閣官房） 7 8 7 億円
- 準天頂衛星システムの開発・整備・運用（内閣府） 2 7 8 億円
- S S A（宇宙状況監視）の強化（防衛省） 1 6 0 億円
- ミサイル防衛のための衛星コンステレーション活用の検討（防衛省） 1 6 億円※（※契約額ベース）

2. 災害対策・国土強靱化や地球規模課題の解決への貢献

- 先進レーダ衛星（ALOS-4）の開発（文科省） 9 6 億円
- マイクロ波無線電力伝送による宇宙太陽光発電システムの開発（経産省） 5 億円
- 静止気象衛星ひまわりの運用（国交省） 2 6 億円
- GOSATシリーズによる地球環境観測事業等（環境省） 5 7 億円

3. 宇宙科学・探査による新たな知の創造

- アルテミス計画に向けた研究開発等（文科省） 3 8 1 億円
- 火星衛星探査計画（MMX）（文科省） 9 2 億円
- X線分光撮像衛星（XRISM）の開発（文科省） 1 1 6 億円

4. 宇宙を推進力とする経済成長とイノベーションの実現

- スマート農業加速化実証プロジェクト等（農水省） 2 2 億円
- 測量分野での利活用の推進（国交省） 2 3 億円

5. 産業・科学技術基盤を始めとする総合的基盤の強化

- 小型衛星コンステレーションの構築など宇宙開発利用の促進（内閣府） 5 8 億円
- 量子暗号通信網の構築（総務省） 3 4 億円
- H3ロケットの開発・高度化（文科省） 2 0 5 億円
- 超小型衛星コンステレーション基盤技術開発（経産省） 2 3 億円